

東急池上線 木になるリニューアルプロジェクト ～木材活用による地域連携と資源循環～

東急電鉄株式会社

目次

1. 会社概要

2. 環境対策の取り組み

(1) 「環境ビジョン2030」

(2) 木材活用 ～木になるリニューアールプロジェクト～

3. 東急池上線での木材活用事例

(1) 戸越銀座駅

(2) 旗の台駅

(3) 長原駅

(4) 池上駅

4. 今後の展望

(1) Green UNDER GROUND (駒沢大学駅)

(2) 古材「えきもく」の利活用

(3) “もっと”木になるリニューアール

目次

1. 会社概要

2. 環境対策の取り組み

- (1) 「環境ビジョン2030」
- (2) 木材活用 ～木になるリニューアールプロジェクト～

3. 東急池上線での木材活用事例

- (1) 戸越銀座駅
- (2) 旗の台駅
- (3) 長原駅
- (4) 池上駅

4. 今後の展望

- (1) Green UNDER GROUND (駒沢大学駅)
- (2) 古材「えきもく」の利活用
- (3) “もっと”木になるリニューアール

1. 会社概要

会社名	東急株式会社（TOKYU CORPORATION）
設立	1922年9月2日
事業内容	交通事業、不動産事業、生活サービス事業、ホテル・リゾート事業
株式上場	東京証券取引所 プライム市場（証券コード 9005）
従業員数	連結：23,763人 当社：5,262人
資本金	1,217億円
総資産	26,140億円

2023年3月31日現在

東急線沿線を中心に、長期視点での「まちづくり」を手掛け、お客さまの生活に密着した事業を展開

交通



生活
サービス



不動産

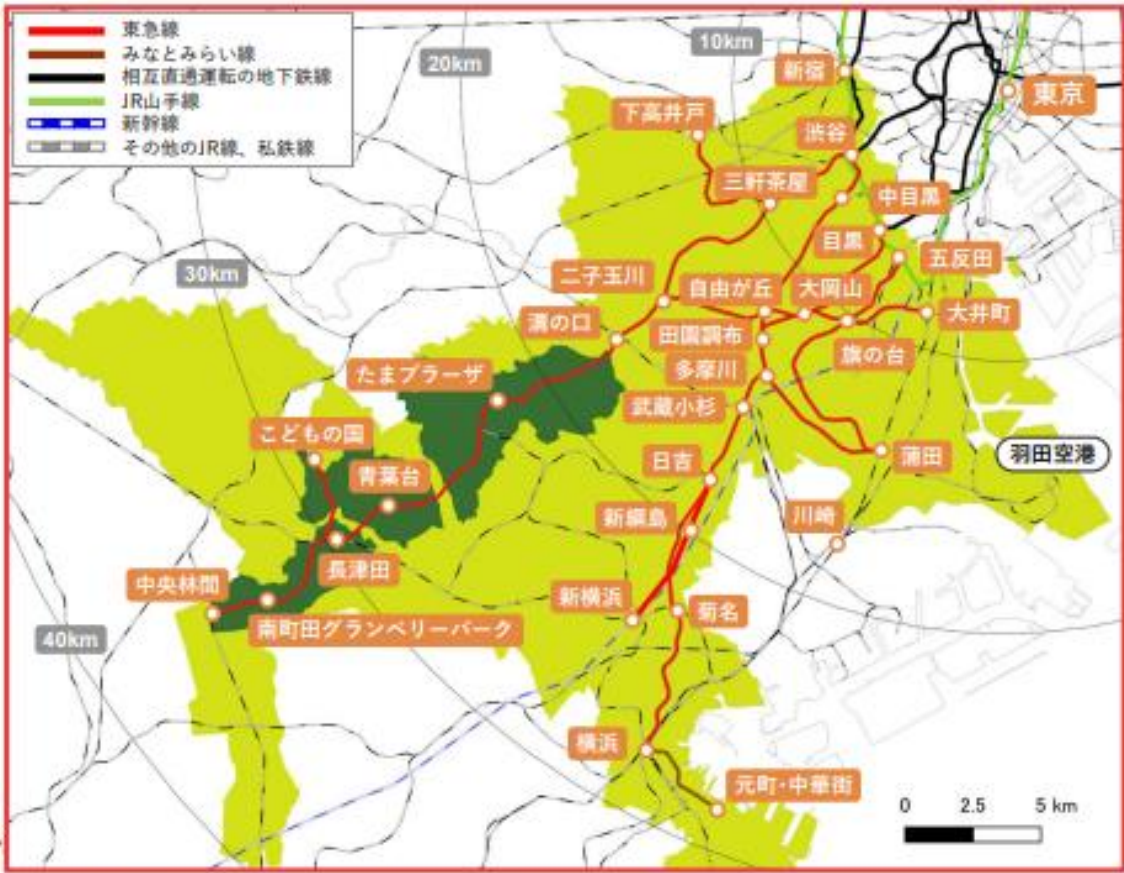


ホテル・
リゾート



1. 会社概要

■ 東急電鉄の鉄軌道事業フィールド



面積 **492km²**

人口 **551万人** (外国人含む)
首都圏 (1都3県) の15%
(住民基本台帳2022年1月1日現在)

人口密度 **11,200人/km²**
(東京: 6,288人/km²)

地図は国土交通省国土数値情報ダウンロードサイト (<https://nlftp.mlit.go.jp/ksj/>) より
行政区画データ、鉄道データを加工して作成

© 2023 TOKYU CORPORATION All Rights Reserved.

1. 会社概要

■ 鉄軌道事業の概要



路線別データ

線名	区間	営業キロ	駅数
東横線	渋谷～横浜	24.2km	21
目黒線	目黒～日吉	11.9km	13
東急新横浜線	日吉～新横浜	5.8km	3
田園都市線	渋谷～中央林間	31.5km	27
大井町線	大井町～溝の口	12.4km	16
池上線	五反田～蒲田	10.9km	15
東急多摩川線	多摩川～蒲田	5.6km	7
こどもの国線	長津田～こどもの国	3.4km	3
世田谷線	三軒茶屋～下高井戸	5.0km	10
		110.7km	99

※駅数合計は路線の重複する駅を1駅として記載

新空港線(蒲蒲線) 計画

概要 2000年1月に運輸政策審議会答申第18号で「京急空港線と東急多摩川線を短絡する路線の新設」として答申され、2016年4月の「交通政策審議会答申第198号」においては、空港アクセスの向上に資するプロジェクトとして位置付けられた

進捗 2022年10月に大田区と東急電鉄(株)は新空港線整備に向け第三セクター「羽田エアポートライン(株)」を設立(出資比率は大田区61%、東急電鉄39%)

効果 東横線沿線地域から羽田空港へのアクセス強化
羽田空港とのネットワークの形成による利便性の向上、
また、大田区エリア内の人流活性化効果にも期待

目次

1. 会社概要

2. 環境対策の取り組み

(1) 「環境ビジョン2030」

(2) 木材活用 ～木になるリニューアールプロジェクト～

3. 東急池上線での木材活用事例

(1) 戸越銀座駅

(2) 旗の台駅

(3) 長原駅

(4) 池上駅

4. 今後の展望

(1) Green UNDER GROUND (駒沢大学駅)

(2) 古材「えきもく」の利活用

(3) “もっと”木になるリニューアール

目次

1. 会社概要

2. 環境対策の取り組み

(1) 「環境ビジョン2030」

(2) 木材活用 ～木になるリニューアールプロジェクト～

3. 東急池上線での木材活用事例

(1) 戸越銀座駅

(2) 旗の台駅

(3) 長原駅

(4) 池上駅

4. 今後の展望

(1) Green UNDER GROUND (駒沢大学駅)

(2) 古材「えきもく」の利活用

(3) “もっと”木になるリニューアール

2. 環境対策の取り組み

環境ビジョン2030

ENVIRONMENTAL VISION

| コンセプト |

なにげない日々が、未来をうごかす

| 想 い |

- 過去・現在・未来は連なり、未来は今日の暮らしが積み重なって生まれる。
- わたしたちの行動や街の存在が、未来を期待に満ちたものへとうごかす。
- 環境に良い行動を特別な負担感なく選択できる日常が、すべての人にあることを目指したい。

2. (1) 「環境ビジョン2030」

■ 環境と調和する街のイメージ

なにげない日々が、未来をうごかす

日々の生活シーン

実現のポイント

移動する

- CO₂フリーな移動
- 効率的・シームレスな移動
- 環境配慮駅を拠点とした資源循環

暮らす遊ぶ

- 手軽なエコ・エシカル生活
- 創エネ・低環境負荷住宅
- エコ・スマートコミュニティ
- 自然環境保全・教育

働く

- 環境配慮型オフィス
- オープンイノベーション

日々の支え

- デジタルテクノロジー
- 自然災害への備え・対応
- エネルギーレジリエンス



1

チャレンジ目標を掲げる

2

あらゆるステークホルダーとのパートナーシップで取り組む

3

環境に良い行動変容を後押しするサービスを提供する

2. (1) 「環境ビジョン2030」

■ 鉄軌道事業での主な取り組み

街をつなぐ駅・交通を中心とした取り組み

低環境負荷からCO₂フリーな公共交通へ

- 世田谷線再エネ運行、SDGsトレイン運行
⇒ 東急線全線で再生可能エネルギー100%*による運行へ

*CO₂排出量が実質的にゼロとなる再生可能エネルギー由来の電力

利用促進により、更なる街の脱炭素を推進



SDGsトレイン『美しい時代へ』号



旧型車両よりも使用電力量を50%削減した2020系車両

新技術活用等による省エネ・エネルギーマネジメント

- 車両更新、機器更新時の省エネ化、駅照明LED化
- 駅空調設備等による高効率エネルギーマネジメント検討
- 鉄道余剰回生電力*活用検討
- 新技術による自社発電検討



元住吉駅太陽光パネル

* 列車がブレーキをかけたときに生じる電力で、列車の加速に利用

木材活用プロジェクトによるCO₂削減

- 木材を活用したホーム上屋改修
- 旧駅舎の古材（えきもく）の再活用
- えきもくを活用した地域イベント等によるコミュニティ形成



リニューアル後の戸越銀座駅
多摩地域生育・生産の「多摩産材」を活用

化石燃料の電化や代替エネルギー促進

- 燃料電池バス、EVバス、次世代モビリティ等の導入推進



水を燃料とする燃料電池バス「SORA」

駅・交通の特性を生かしたゼロ・ウェイスト促進

- お忘れ物のリユースによる廃棄物削減
- 駅を活用したフードロス対策の検討
- 駅を拠点とした資源リサイクル

企業連携を加速し、
取り組みの輪を広げる



長原駅前にて実施したフードロス対策
の実証実験



ブックオフと連携して、東急電鉄で従来
廃棄していた保管期間経過後のお忘れ物
リユースを実現

環境PR・利用促進

- 環境施策のPR
- 公共交通利用促進



3030でまなび、サステナブルに、
環境にやさしい移動手段を
さらに身近に感じてもらうために



環境にやさしい移動手段を
さらに身近に感じてもらうために

目次

1. 会社概要

2. 環境対策の取り組み

(1) 「環境ビジョン2030」

(2) 木材活用 ～木になるリニューアールプロジェクト～

3. 東急池上線での木材活用事例

(1) 戸越銀座駅

(2) 旗の台駅

(3) 長原駅

(4) 池上駅

4. 今後の展望

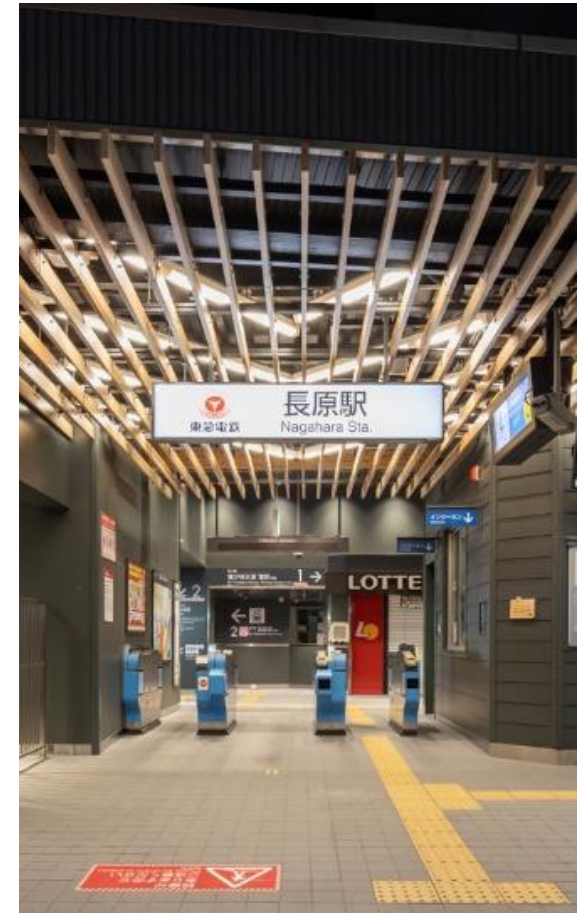
(1) Green UNDER GROUND (駒沢大学駅)

(2) 古材「えきもく」の利活用

(3) “もっと”木になるリニューアール

2. (2) 木材活用～木になるリニューアルプロジェクト～

「木」を切り口とした「循環」プロジェクト
駅を基点に、「まちとつながり、社会を元気にする」



2. (2) 木材活用～木になるリニューアルプロジェクト～

木になるリニューアル
みんなで育てよう「想いが実になる木」



材料製造時のCO2放出量削減、東京の持続的な森林整備と林業振興に向けて、
木材を多く活用した駅舎の改修を行っています。
戸越銀座駅、旗の台駅に続き、長原駅が2021年12月に竣工しました。
是非、生まれ変わった駅をご覧ください。

2. (2) 木材活用～木になるリニューアルプロジェクト～

■ 木になるリニューアルの概要

To Social good = 社会課題（山）の解決へ



- ・再生可能資源「木材」の活用（炭素固定化）
- ・歴史ある駅舎古材の活用（資源循環）
- ・林業活性化（山を知る、木を使う、植える）
- ・フードロス実証実験（沿線食材の循環）

Be the Town station = まちの駅へ

- ・まちのランドマークとしての駅（歴史の継承）
- ・駅づくりの見える化（植林体験、ワークショップ等）
- ・「生活名所」プロジェクト



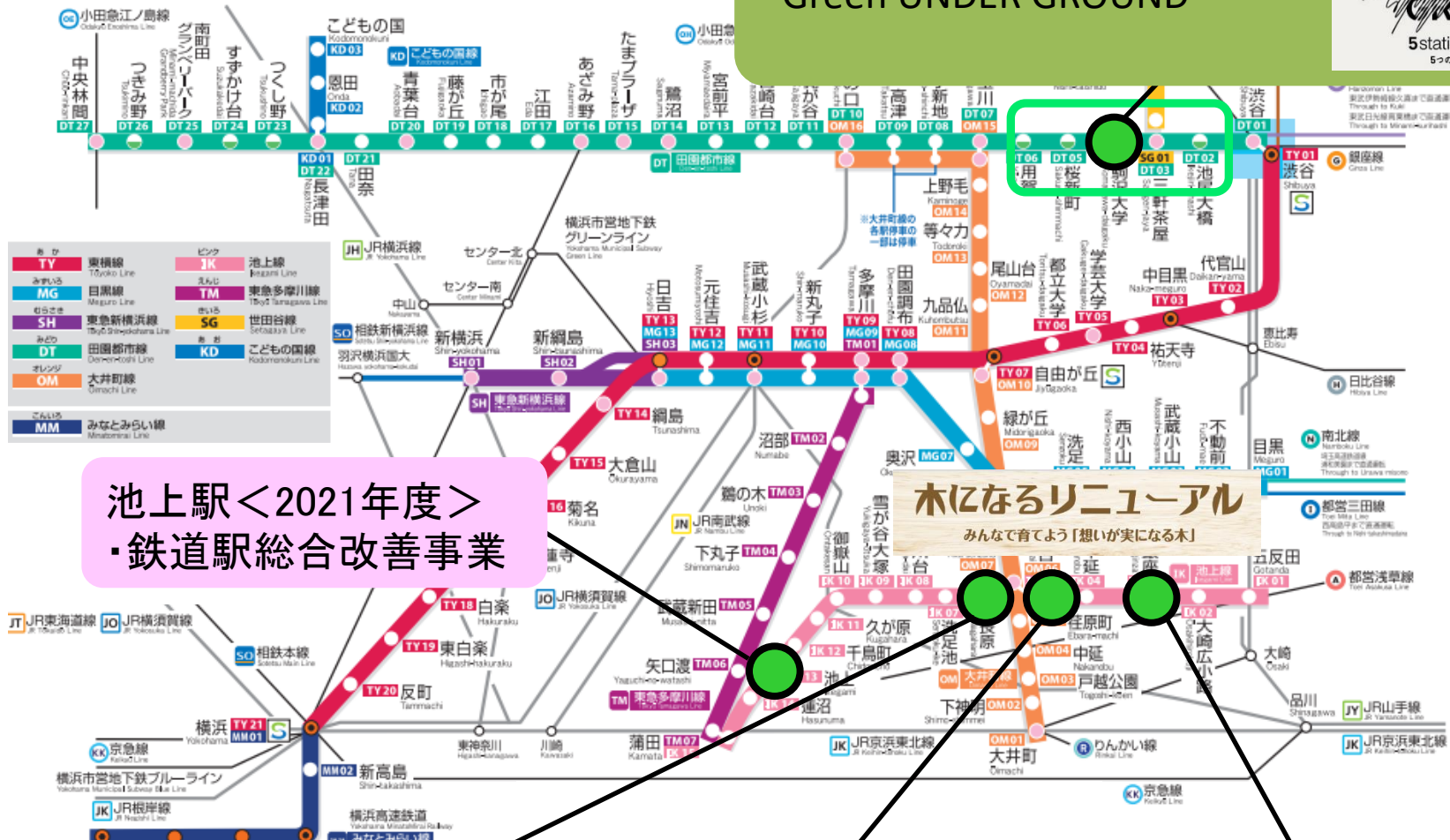
2. (2) 木材活用～木になるリニューアルプロジェクト～

■ 事例紹介

駒沢大学駅 <2024年度予定>

・Green UNDER GROUND

Green
UNDER
GROUND
5stations, 5colors.
5つの駅のリニューアル。



池上駅 <2021年度>
・鉄道駅総合改善事業

木になるリニューアル
みんなで育てよう「想いが実になる木」

長原駅 <2022年度>
・木になるリニューアル③

旗の台駅 <2019年度>
・木になるリニューアル②

戸越銀座駅 <2016年度>
・木になるリニューアル①

目次

1. 会社概要

2. 環境対策の取り組み

(1) 「環境ビジョン2030」

(2) 木材活用 ～木になるリニューアールプロジェクト～

3. 東急池上線での木材活用事例

(1) 戸越銀座駅

(2) 旗の台駅

(3) 長原駅

(4) 池上駅

4. 今後の展望

(1) Green UNDER GROUND (駒沢大学駅)

(2) 古材「えきもく」の利活用

(3) “もっと”木になるリニューアール

目次

1. 会社概要

2. 環境対策の取り組み

(1) 「環境ビジョン2030」

(2) 木材活用 ～木になるリニューアールプロジェクト～

3. 東急池上線での木材活用事例

(1) 戸越銀座駅

(2) 旗の台駅

(3) 長原駅

(4) 池上駅

4. 今後の展望

(1) Green UNDER GROUND (駒沢大学駅)

(2) 古材「えきもく」の利活用

(3) “もっと”木になるリニューアール

3. (1) 戸越銀座駅

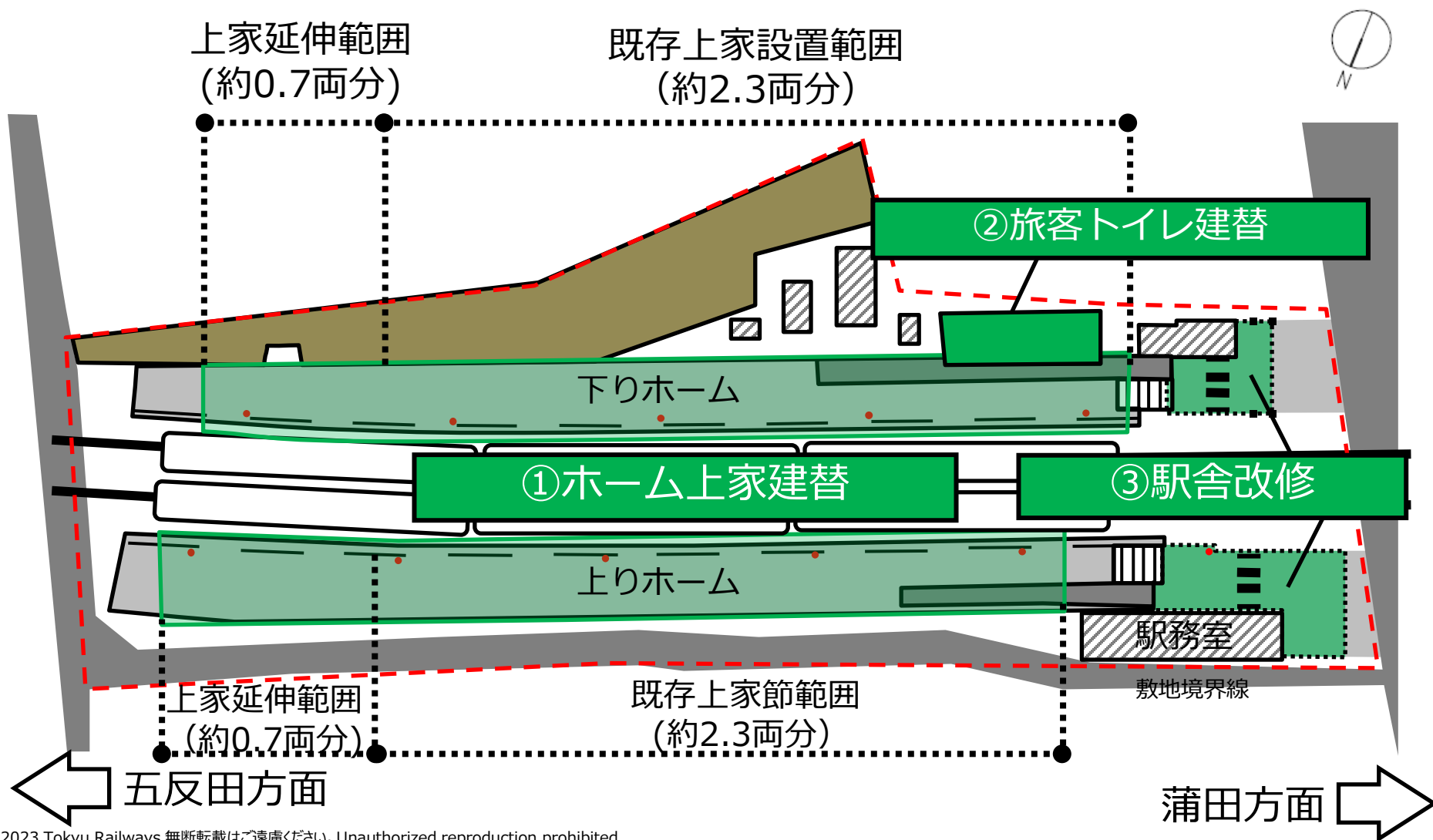
【戸越銀座駅について】

- ・1927年開業
- ・乗降人員 約2万人/日（改修当時）
- ・旧ホーム上家、旧駅舎とも木造
- ・全長約1.3kmの日本有数の商店街である戸越銀座商店街に面して立ち、切妻型の三角屋根が特徴的



3. (1) 戸越銀座駅

■木になるリニューアル 戸越銀座駅の改修概要



3. (1) 戸越銀座駅



3. (1) 戸越銀座駅



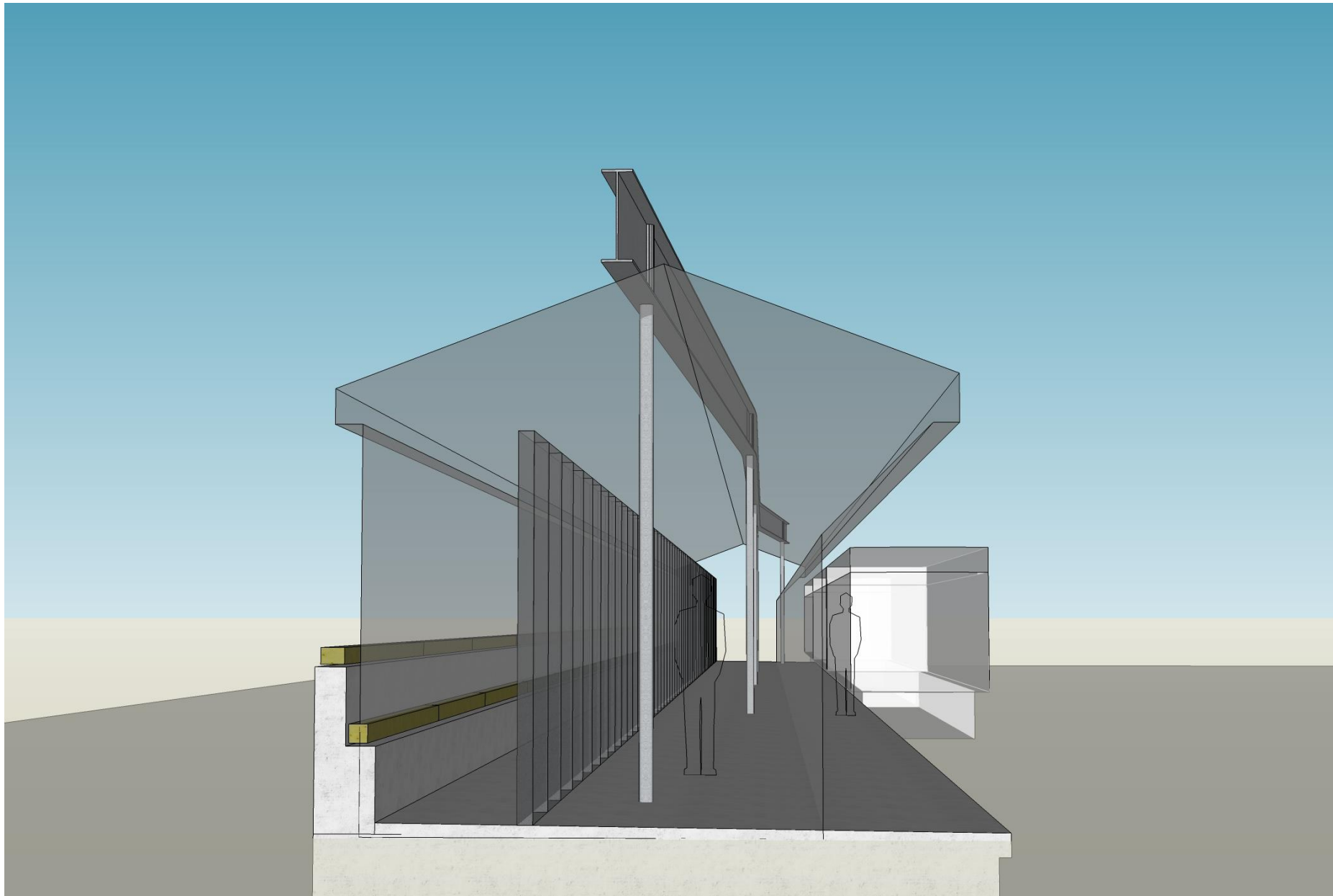
3. (1) 戸越銀座駅

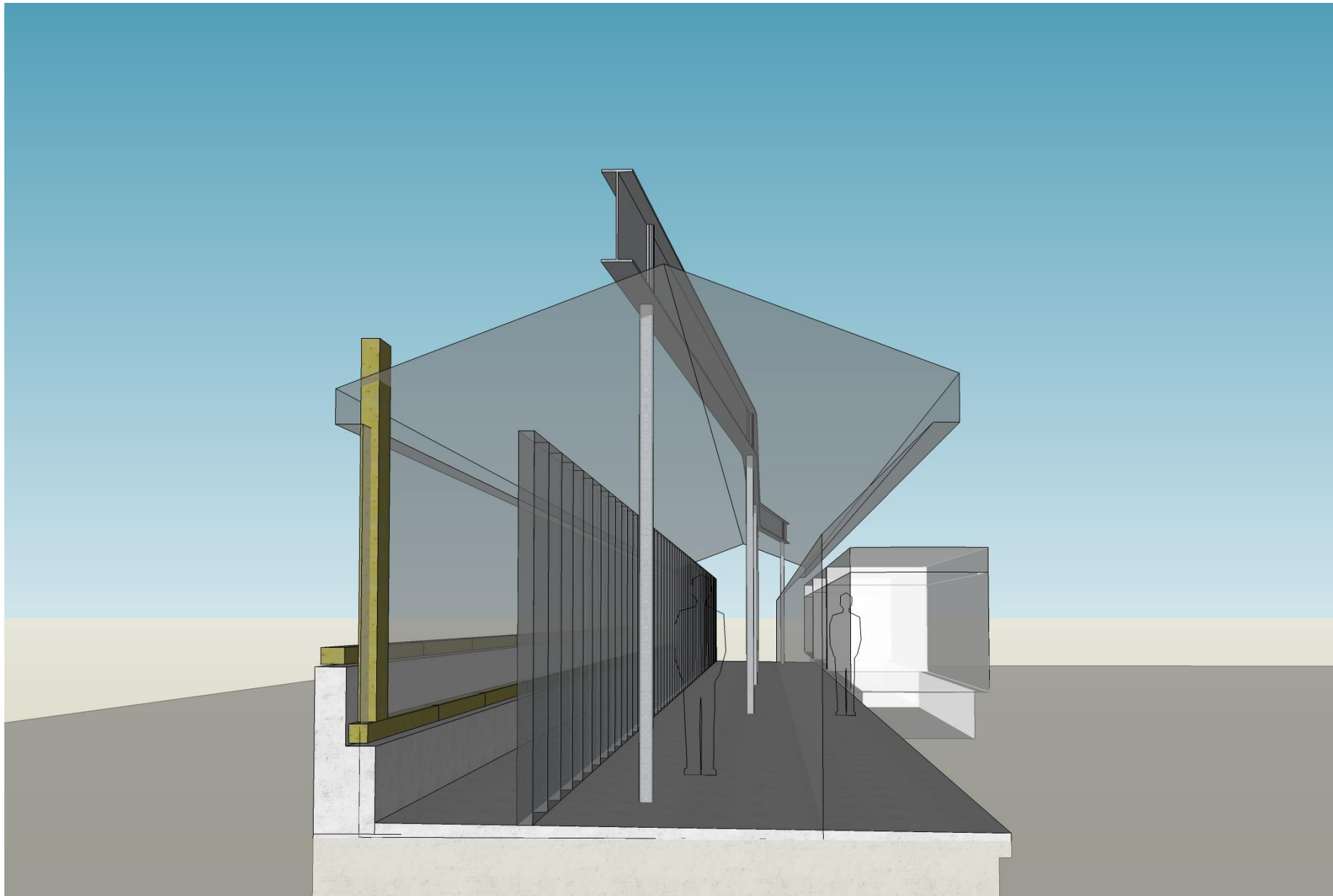


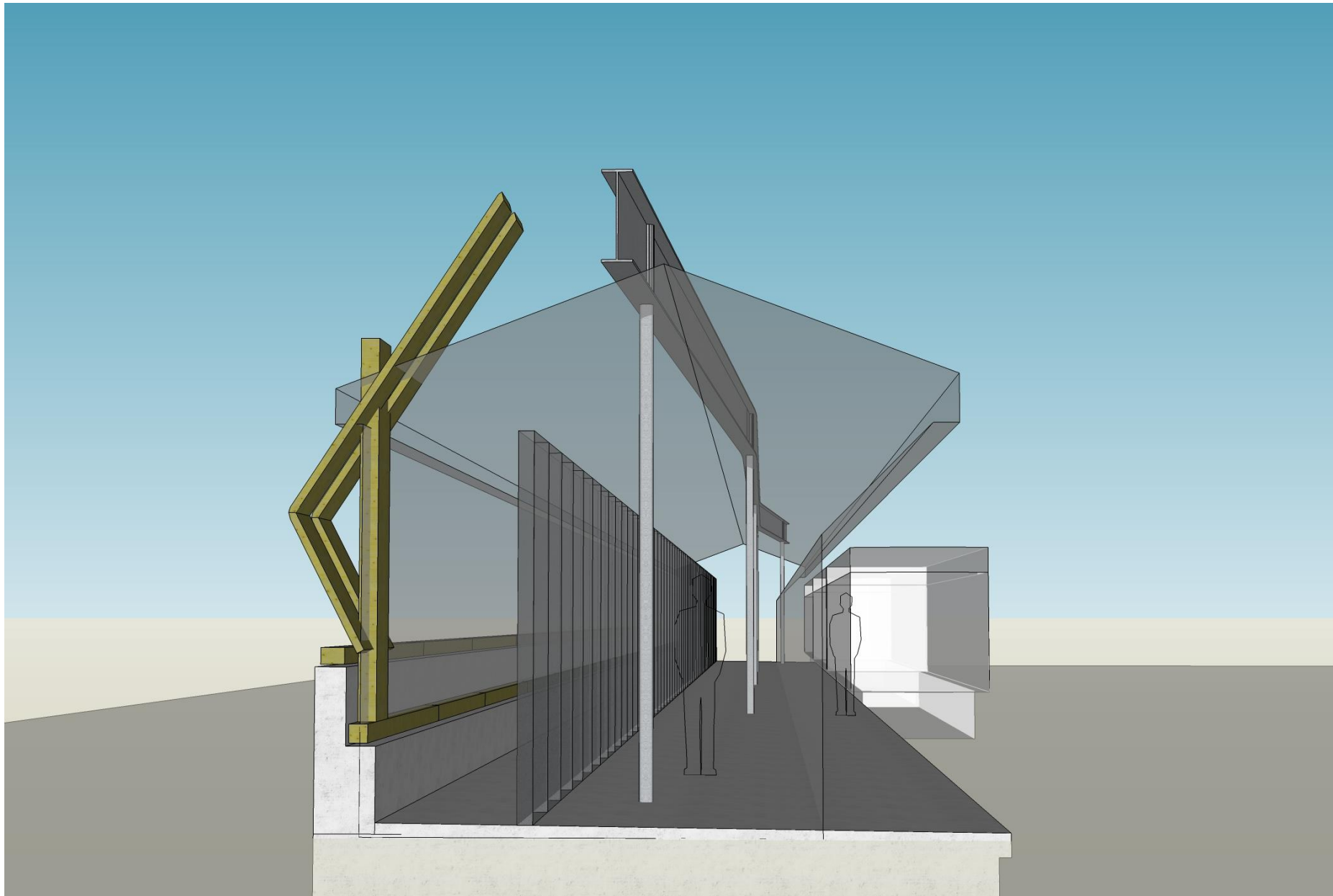
3. (1) 戸越銀座駅

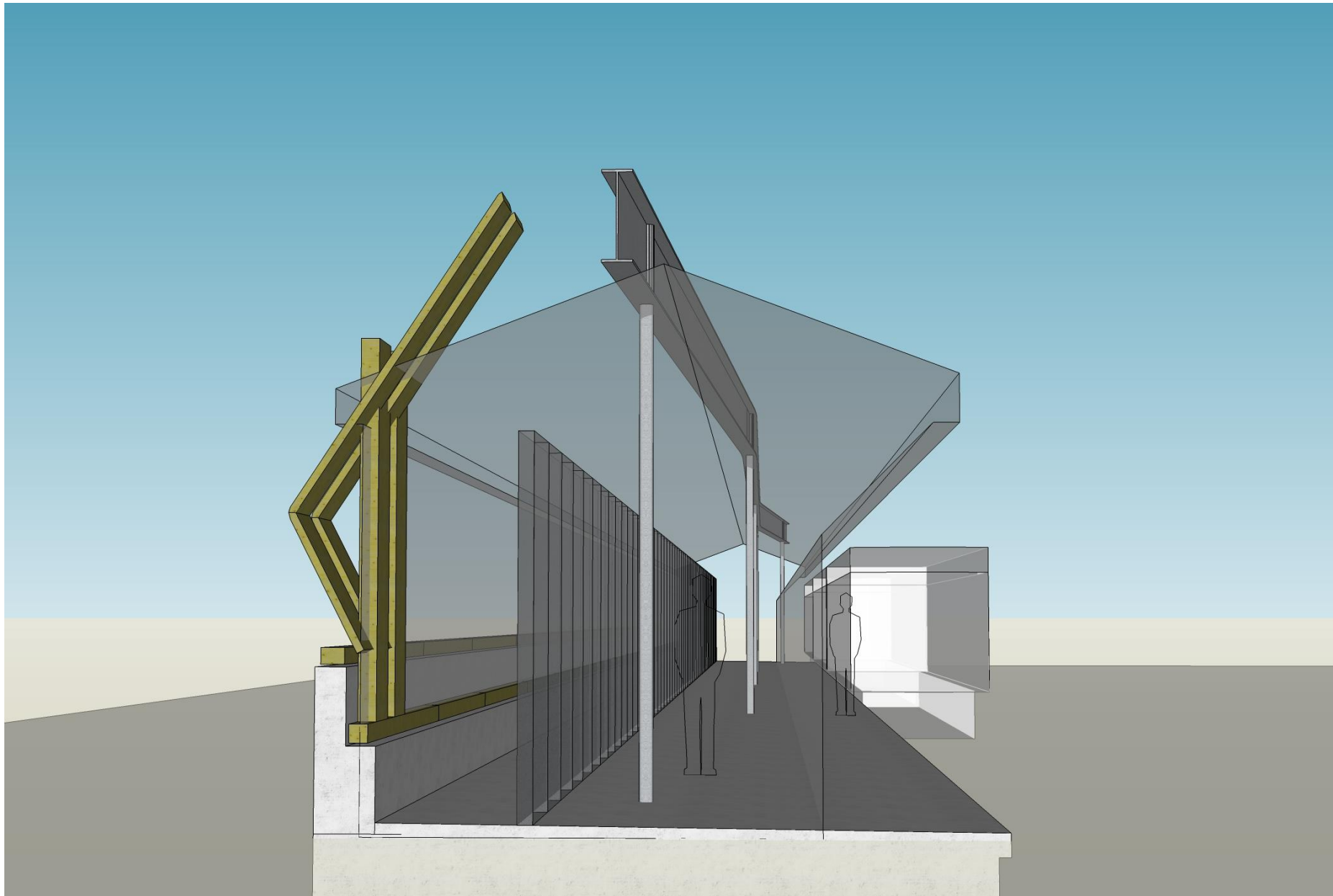


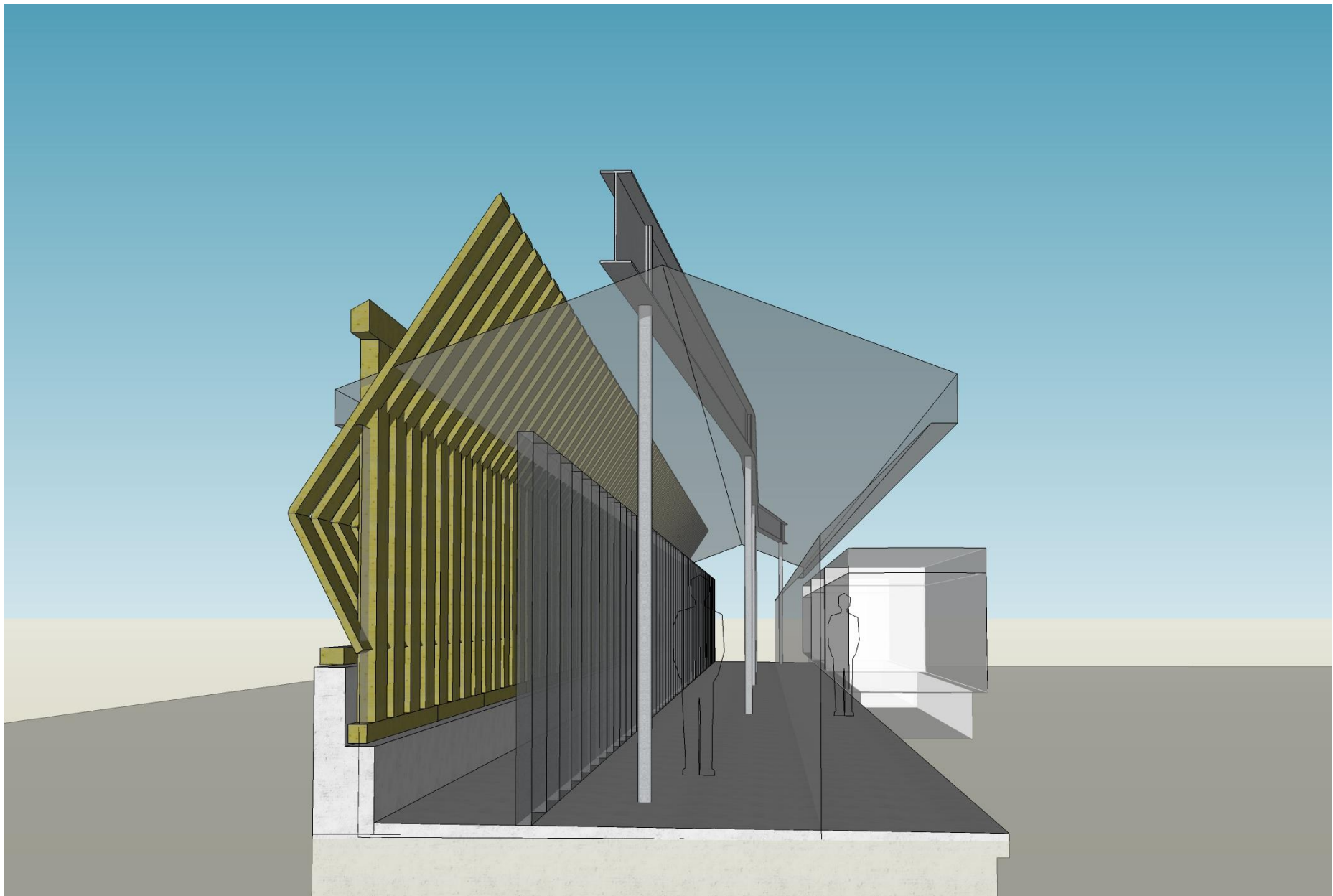
『シザーストラス構造』

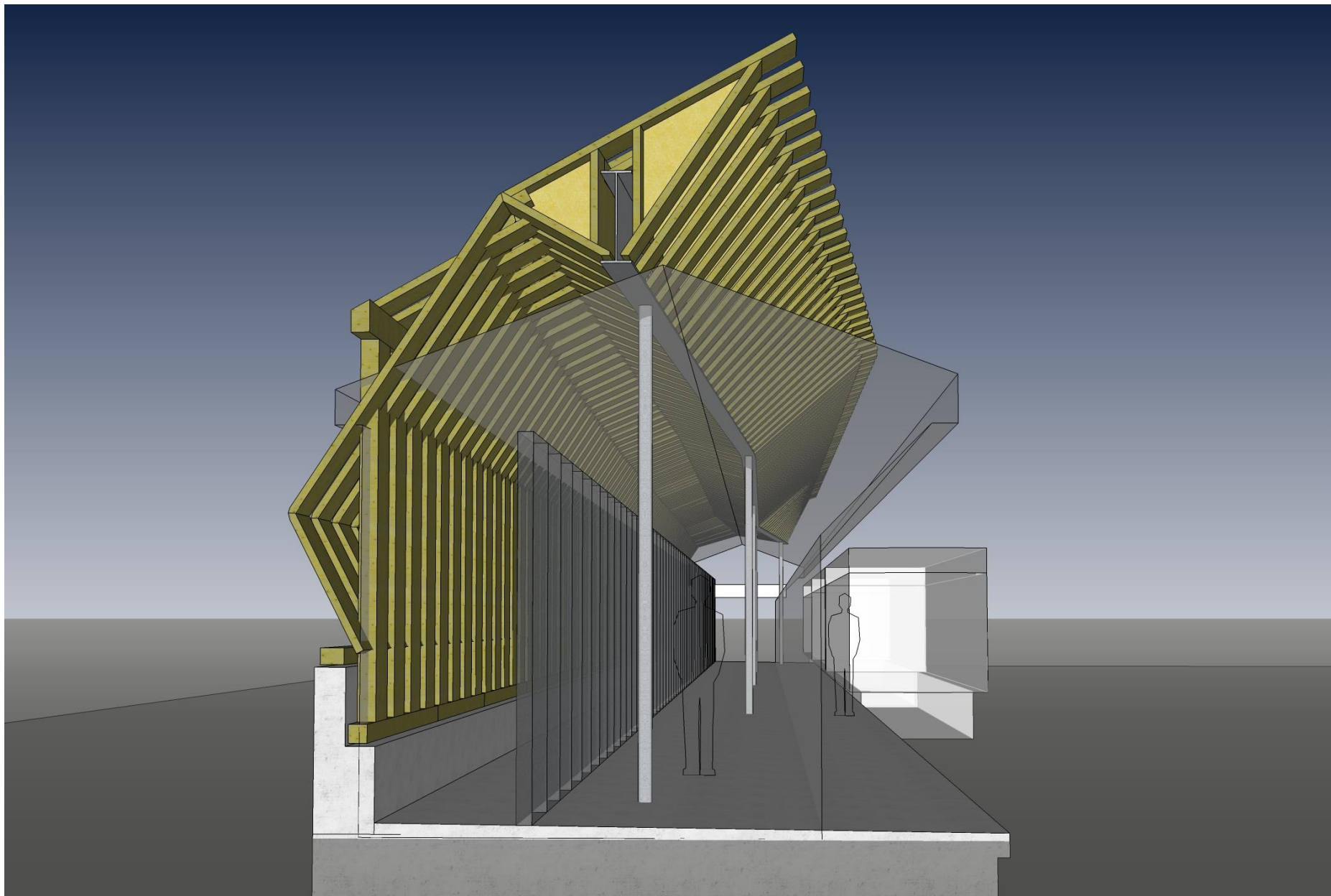


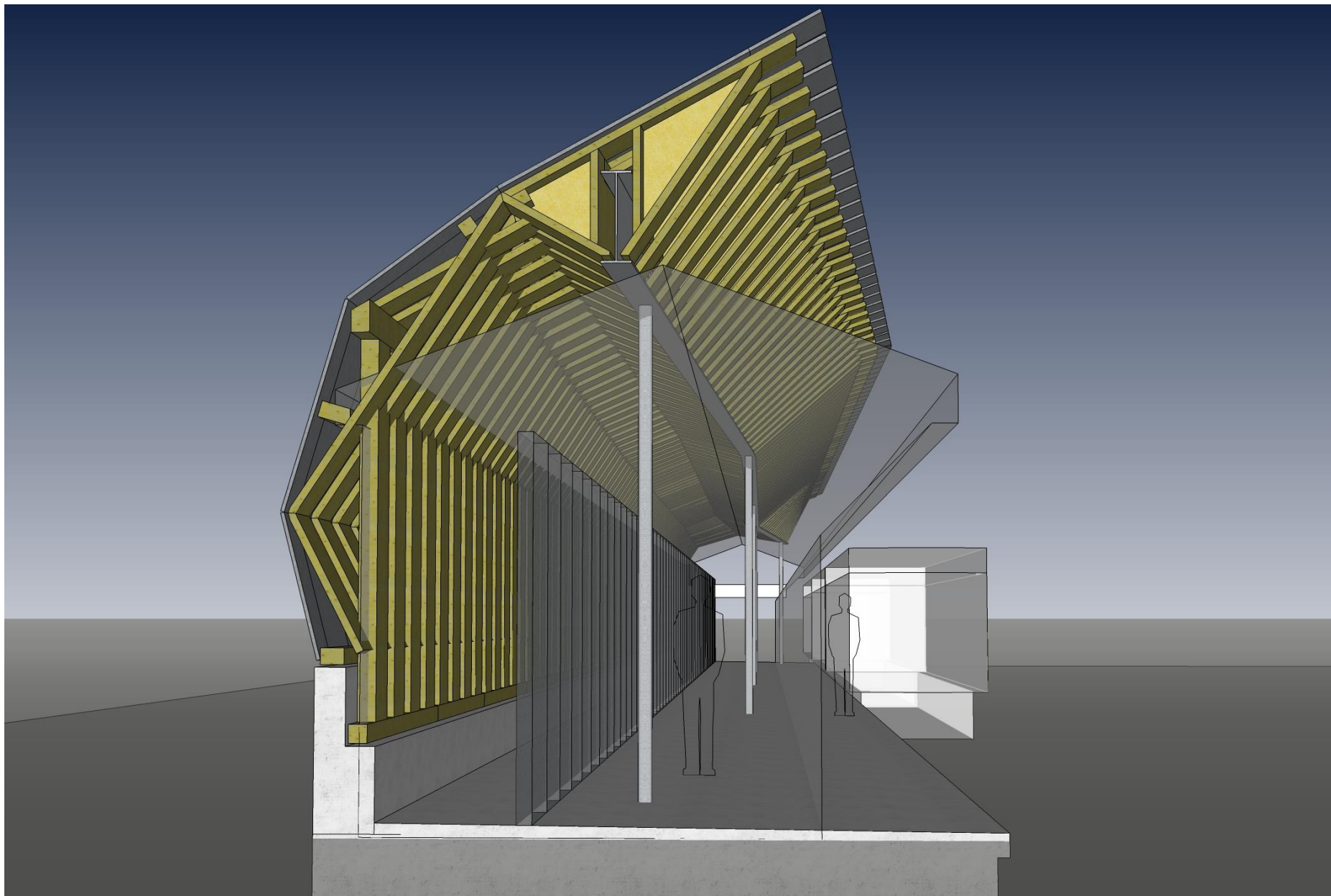


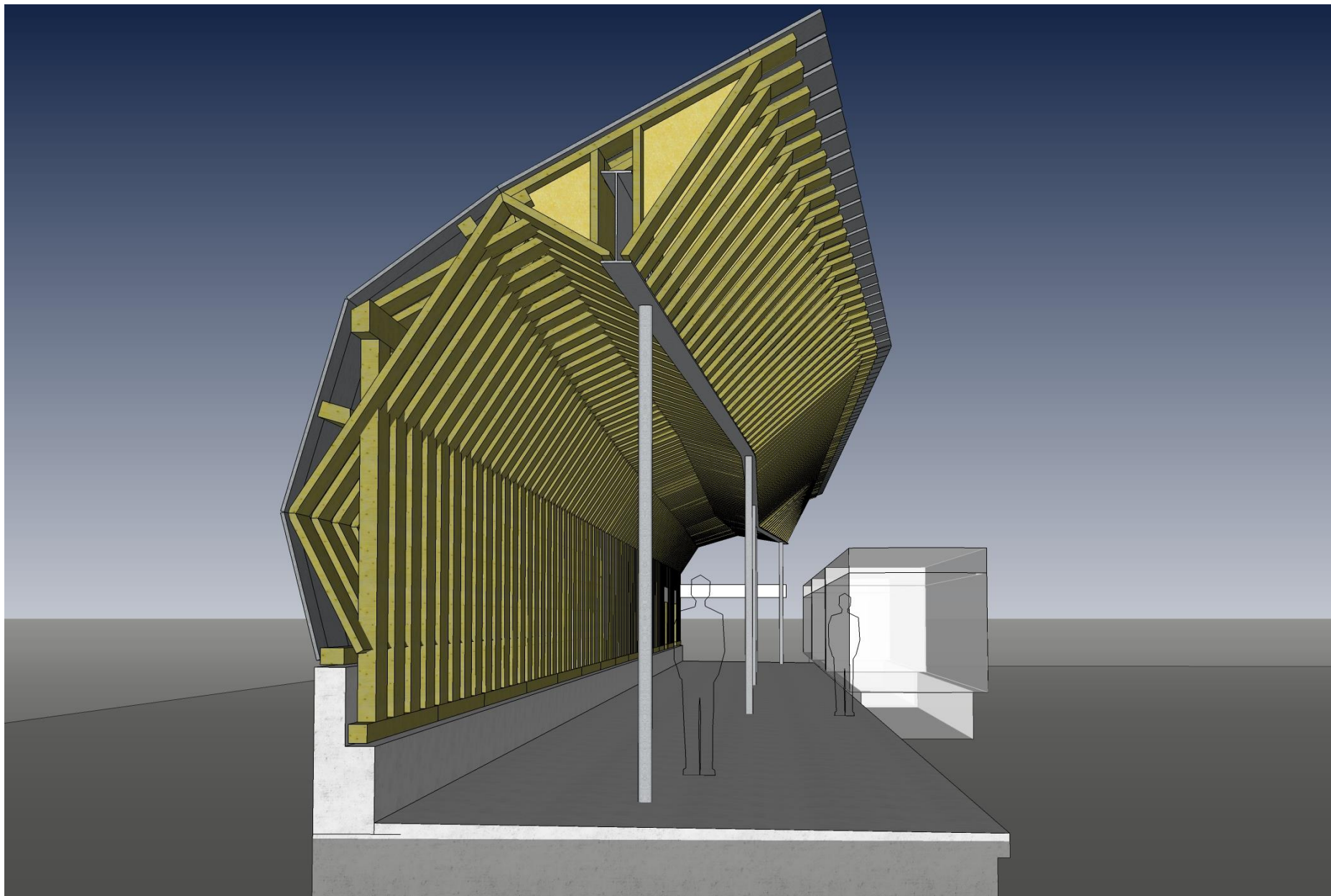












3. (1) 戸越銀座駅



3. (1) 戸越銀座駅



3. (1) 戸越銀座駅

池上線での駅施設リニューアル

≠単なる鉄道駅施設の設備更新

駅リニューアルを通じて地域とのより良い関係を築く

目指すもの：愛着醸成、社会貢献、多世代交流、地域交流

■ 具体的な施策

木材をきっかけとした参加型イベント等の開催



古材活用による駅の記憶（思い出）の継承



3. (1) 戸越銀座駅

「多摩の森とつながるツアー」の開催
(第一回：原産地見学会、第二回：植林体験等のツアー)



【開催概要】

内 容：原産地の多摩地区の森へ皆で行き、森林、多摩産材原木市場、加工場の視察や植林体験等を行う

対 象：駅利用者、近隣住民、リニューアール工事に関心をお持ちの方等

3. (1) 戸越銀座駅

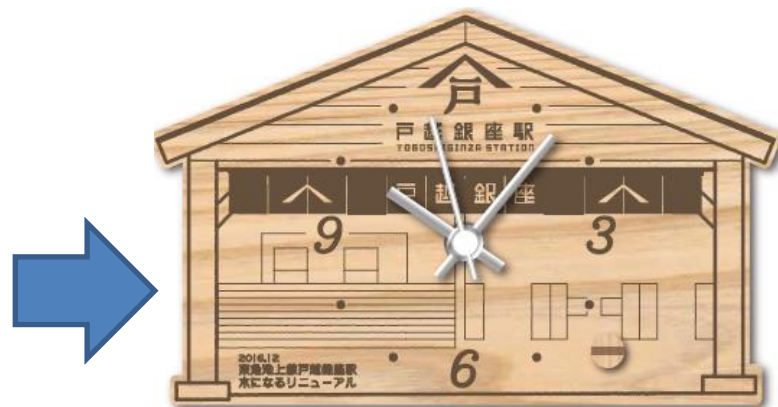
■ 駅構内ベンチ製作ワークショップ



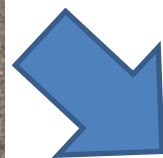
メッセージやイラストの描かれたベンチを新しい駅に設置

3. (1) 戸越銀座駅

■ 古材（えきもく）の活用



駅リニューアル記念置時計



竣工記念キーホルダー



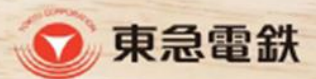
想いが実になる木 メモリアルボード額縁

3. (1) 戸越銀座駅



東急池上線 戸越銀座駅

木になる
リニューーアル



3. (1) 戸越銀座駅

戸越銀座駅・88年目の決意

みなさま、こんにちは。

今年で88歳(昭和2年生まれ)になるわたしは、
まちの玄関として、今まで多くのお客さまを送り出し、
商店街を行き交うみなさまを見送ってきました。

そして、赤ちゃんの頃から何十年も住んでいるあなたや、
毎日お仕事や学校に行っているあなたをはじめ、
多くのみなさまに大切にされてきました。
わたしはこのまちに生まれて本当に幸せです。

しかし、このわたしも長い年月には勝てず、
節々の痛みや綻びが目立つようになってきました。
そろそろ生まれ変わるときが訪れたようです。

これまで大事にしてきたものを継承しながら、
わたしは新しく生まれ変わります。
温かみのある木の駅になるのです。

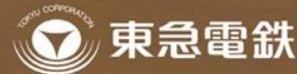
少し時間はかかりますが、
そんなわたしのごとも
ちよこつとばかり気にしてください。

これからわたしは、
まちの玄関として、
「みなさまの駅」として頑張ります。

戸越銀座駅より

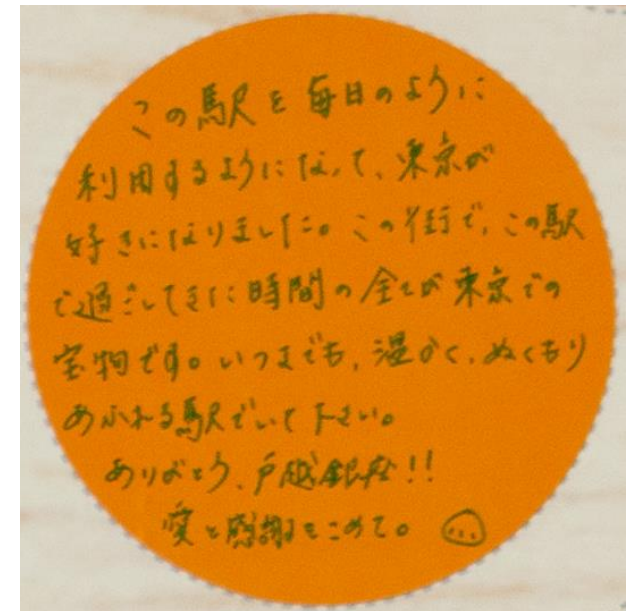


東急池上線 戸越銀座駅 木になるリニューアル



3. (1) 戸越銀座駅

■ 想いが実になる木



882通のメッセージ

3. (1) 戸越銀座駅

■ 想いが実になる木 メモリアルボード



想いが実になる木でいただいた882通のメッセージを
刻印したメモリアルボードを作成し駅舎壁面に展示

3. (1) 戸越銀座駅



目次

1. 会社概要

2. 環境対策の取り組み

(1) 「環境ビジョン2030」

(2) 木材活用 ～木になるリニューアールプロジェクト～

3. 東急池上線での木材活用事例

(1) 戸越銀座駅

(2) 旗の台駅

(3) 長原駅

(4) 池上駅

4. 今後の展望

(1) Green UNDER GROUND (駒沢大学駅)

(2) 古材「えきもく」の利活用

(3) “もっと”木になるリニューアール

3. (2) 旗の台駅

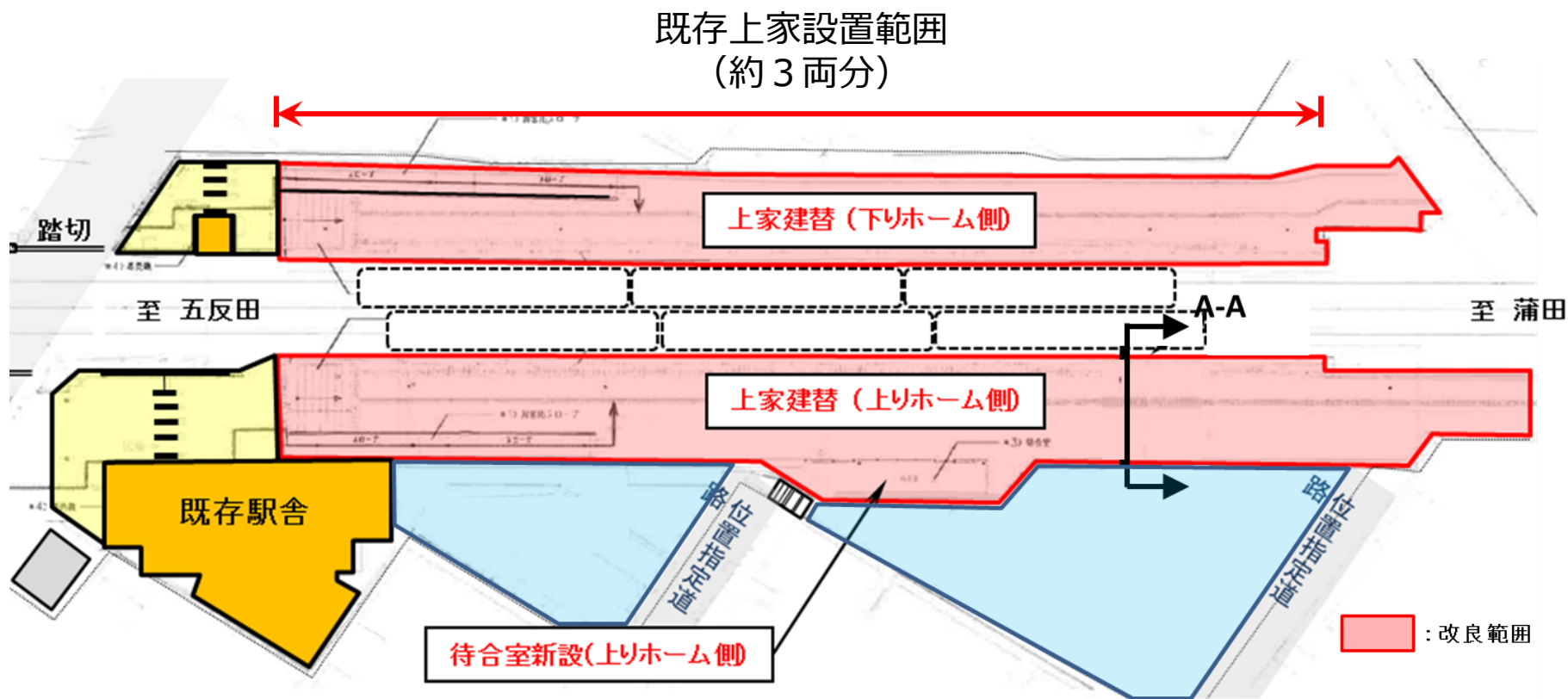
【旗の台駅について】

- ・1927年開業
- ・乗降人員 約1.5万人/日（改修当時）
- ・旧ホーム上家木造
- ・池上線と大井町線の乗換え駅

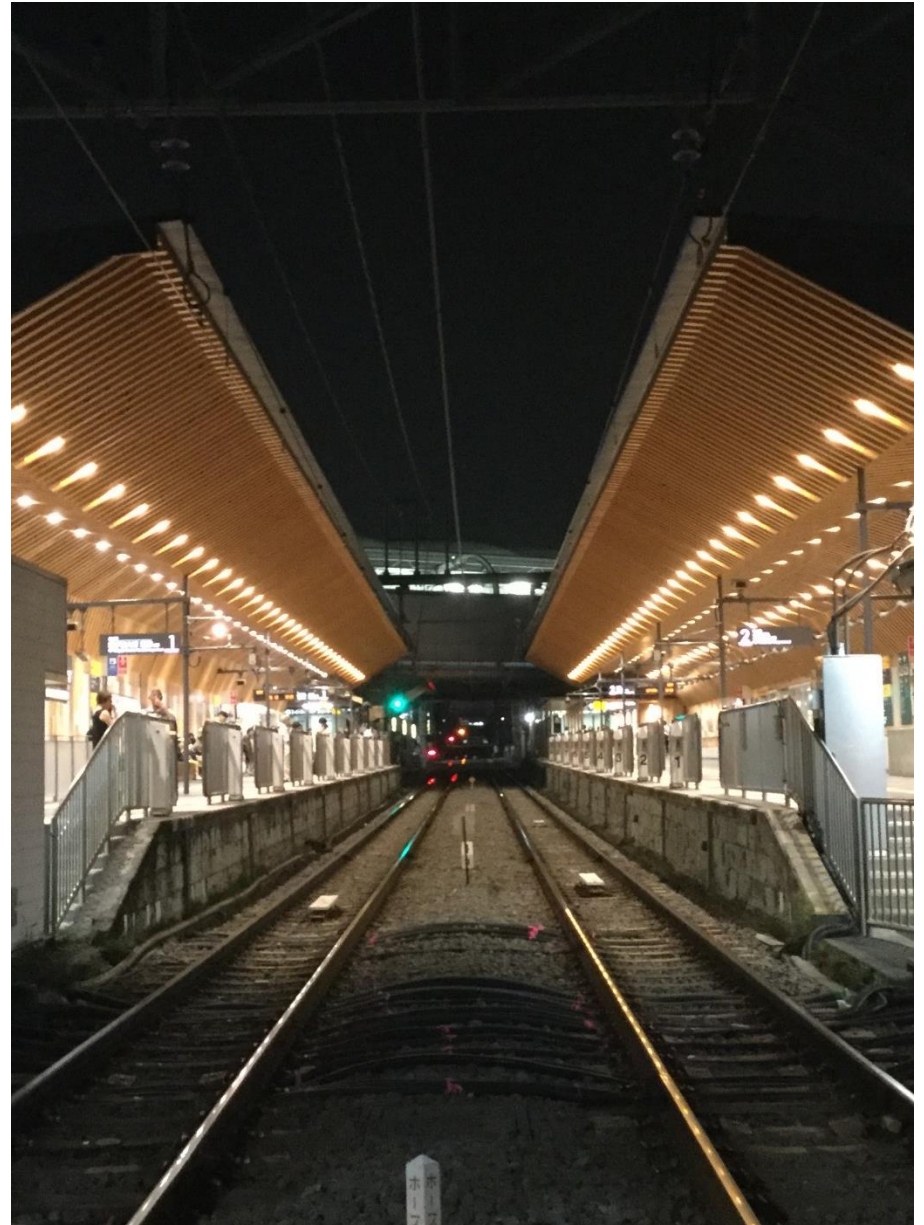


3. (2) 旗の台駅

■ 木になるリニューアル 旗の台駅の改修概要



3. (2) 旗の台駅



3. (2) 旗の台駅

わたしは、生まれ変わります

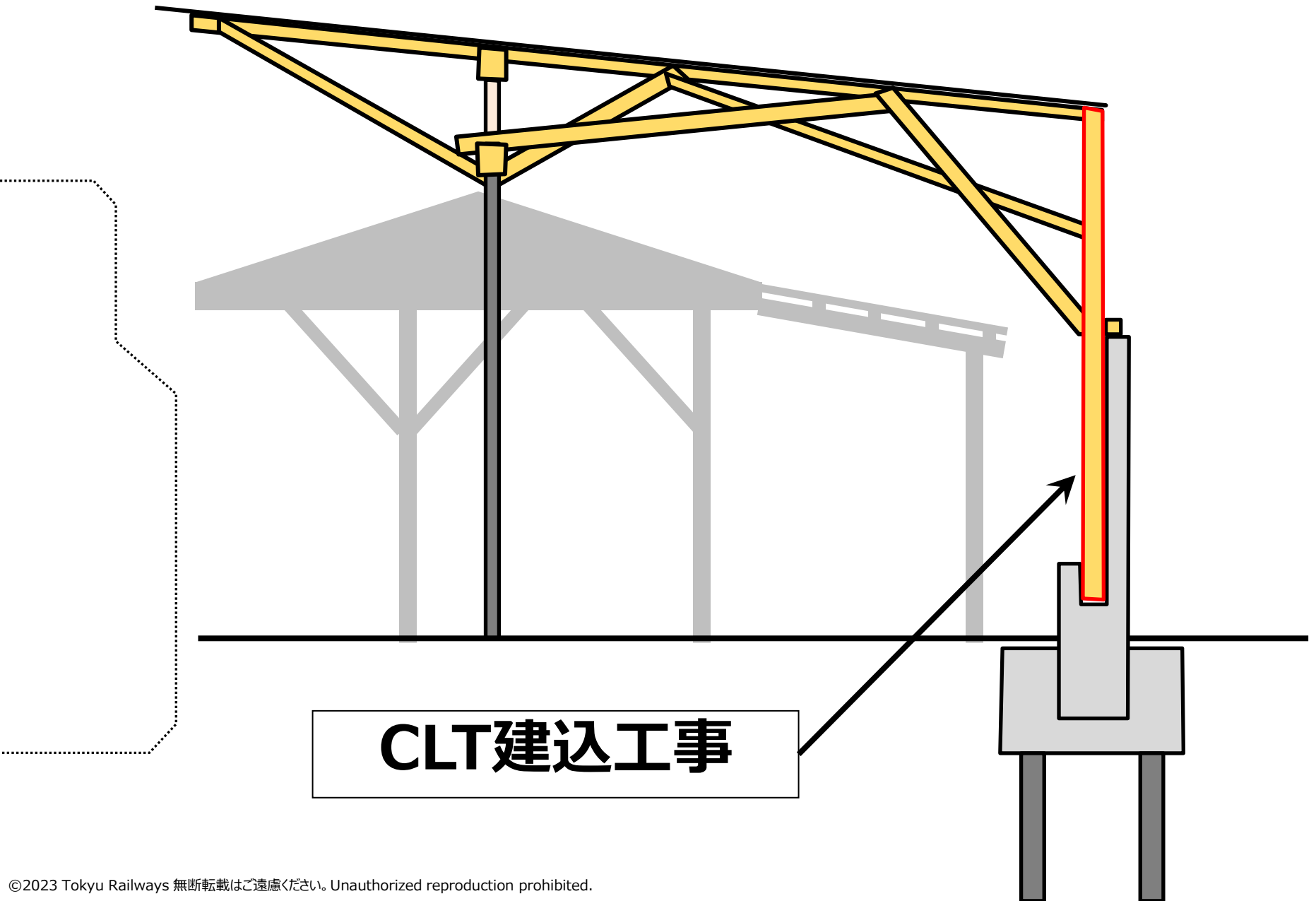
やわらかく、あたたかみのある
ホーム屋根に生まれ変わります

柱を減らし、すっきりした
気持ち晴れやかなホームになります

居心地のよい
待合室ができます

多摩産材をふんだんに
使用した駅になります

3. (2) 旗の台駅



CLT建込工事

3. (2) 旗の台駅

○ C L T 建込工事



3. (2) 旗の台駅

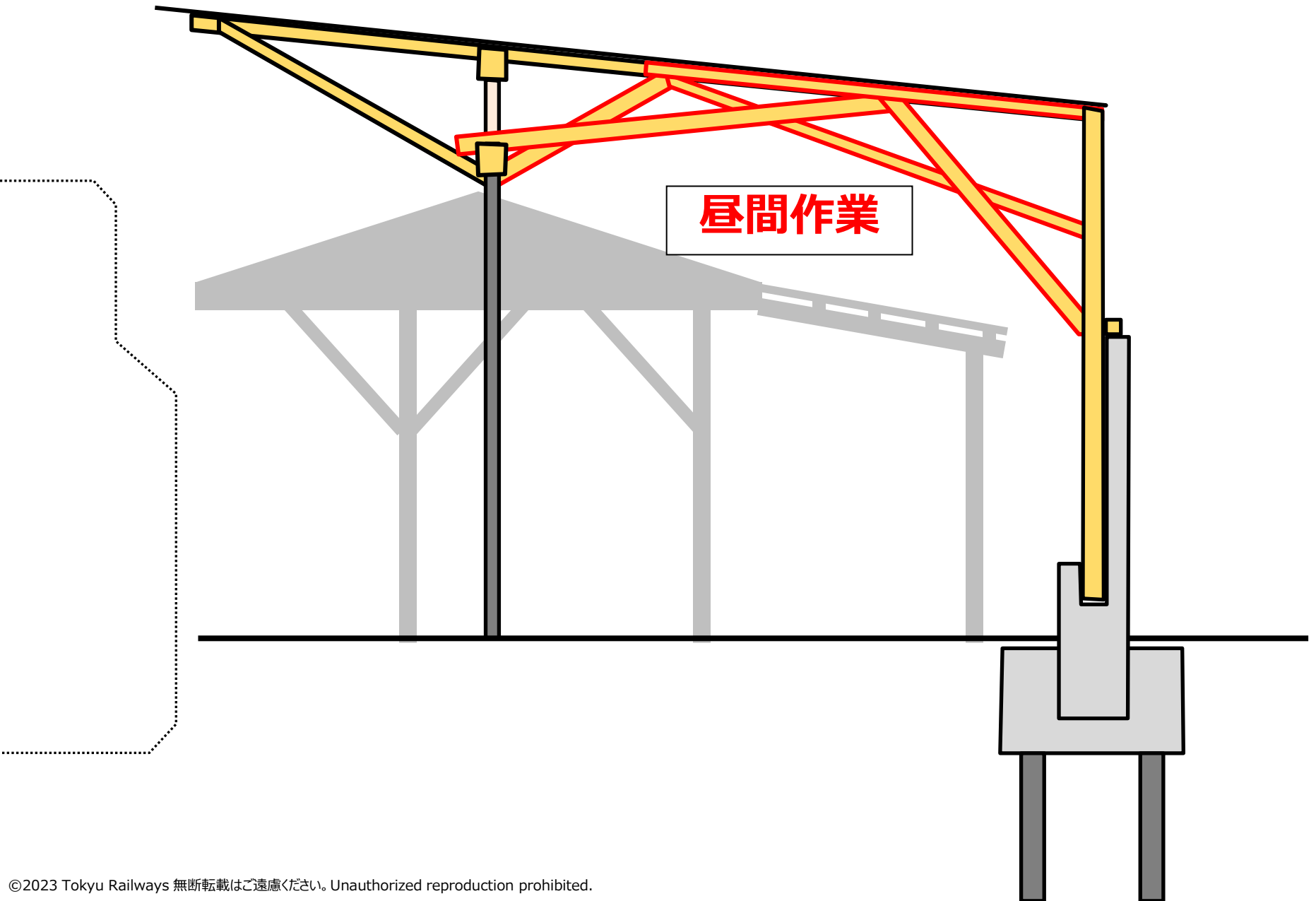
○ C L T 建込工事



3. (2) 旗の台駅



3. (2) 旗の台駅



3. (2) 旗の台駅

○垂木建込工事



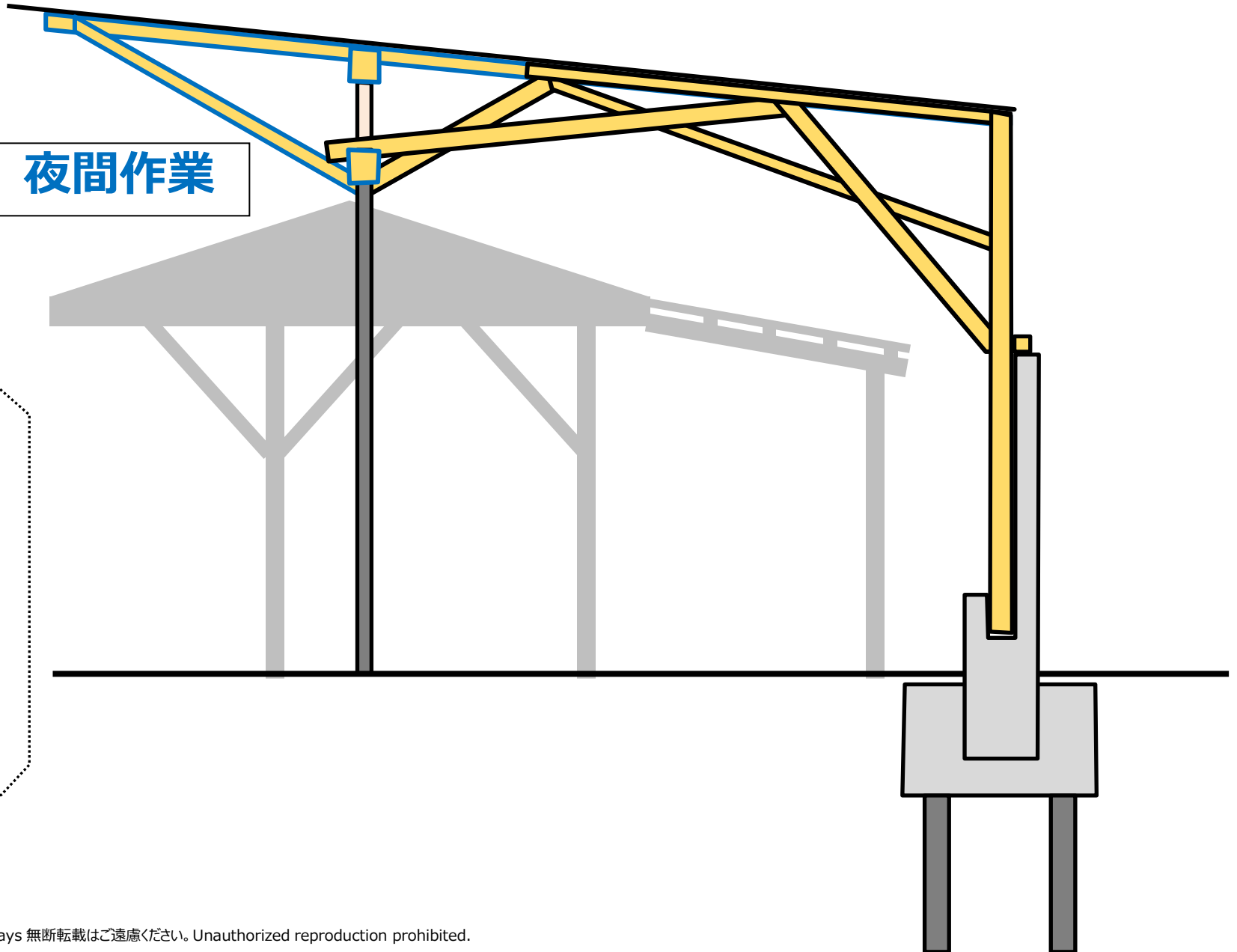
3. (2) 旗の台駅

○垂木建込工事



3. (2) 旗の台駅

夜間作業



3. (2) 旗の台駅

○垂木建込工事



3. (2) 旗の台駅

○垂木建込工事



3. (2) 旗の台駅



目次

1. 会社概要

2. 環境対策の取り組み

(1) 「環境ビジョン2030」

(2) 木材活用 ～木になるリニューアールプロジェクト～

3. 東急池上線での木材活用事例

(1) 戸越銀座駅

(2) 旗の台駅

(3) 長原駅

(4) 池上駅

4. 今後の展望

(1) Green UNDER GROUND (駒沢大学駅)

(2) 古材「えきもく」の利活用

(3) “もっと”木になるリニューアール

3. (3) 長原駅

【長原駅について】

- ・1967年に地下化し現在の駅舎形状となってから約50年が経過
- ・乗降人員 約1.4万人/日
- ・鉄筋コンクリート造



3. (3) 長原駅

各種法令基準により**木材活用が困難な地下駅**に対し、
地上コンコースへ積極的に木材（多摩産材）を使用→CO2固定化**0.93 t**



3. (3) 長原駅

環境アクションへのきっかけづくり・地域コミュニティ創出

木材伐採～加工動画

環境配慮



木材伐採



木材加工工場



伐採編 YouTube公開状況

<https://www.youtube.com/watch?v=LliT3Y1DfkM>

- 伐採編
車内広告（期間：2021年11月7日～12月5日）、YouTube
- 加工編
車内広告（期間：2022年6月6日～（予定））、YouTube

竣工式

環境配慮

池上線活性化

日時 2022年1月11日(火) 10:30～11:30

実施内容 竣工式（来賓挨拶、事業概要説明、テープカット、フォトセッション）
ノベルティ配布（工事概要等PR冊子、多摩産材活用コースター）
駅主催ミニゲーム

参列者 東京都農林水産振興財団 係長 / 長原商店会振興組合 理事長 / 五反田駅駅長



竣工式フォトセッション（左から 東京都農林水産振興財団 係長、五反田駅駅長、長原商店会振興組合）



竣工式の様子



ノベルティ配布



駅による
木材を使ったミニゲームの実施



ノベルティ

3. (3) 長原駅



“日本初”全てのお客さま向け駅構内フードロスイベント実施
『店舗閉店後に売れ残った食品を集荷し、お客さまへ提供』

フードロス削減 約**240kg**！ 電車運搬・フードロス廃棄処分ゼロにより “**CO2削減効果 約15.4kg/9日間**” を実現！

営業状況

- ・各店舗閉店後の販売しきれなかった食品を集荷し販売（開催時間 21時30分～22時30分頃まで）
- ・食品廃棄焼却無しによるCO2削減効果 約**10.7kg**



営業開始時に集まるお客さま



営業状況①



営業状況②



最終日の行列の様子

販売商品（各店舗におけるフードロス）

- ・サンジェルマン（パン約**70～80個/日**）
 - ・東急ストア（お米 **2kg×70袋**、**凹んだ缶詰**、**季節物の飲料水等**）
 - ・ドトール（パン約**2個/2～3日**）
- <販売価格>
パン = 3個500円
他全商品 = 40%OFF



サンジェルマン



ドトール



東急ストア

当社“初”電車を活用した運搬

- ・環境配慮より電車活用（池上駅～長原駅）
- ・CO2削減効果 約**4.7kg**（対自動車）



目次

1. 会社概要

2. 環境対策の取り組み

(1) 「環境ビジョン2030」

(2) 木材活用 ～木になるリニューアールプロジェクト～

3. 東急池上線での木材活用事例

(1) 戸越銀座駅

(2) 旗の台駅

(3) 長原駅

(4) 池上駅

4. 今後の展望

(1) Green UNDER GROUND (駒沢大学駅)

(2) 古材「えきもく」の利活用

(3) “もっと”木になるリニューアール

3. (4) 池上駅

【池上駅について】

- ・1922年開業
- ・乗降人員 約3.3万人/日
- ・旧ホーム上家、旧駅舎とも木造
- ・構内踏切を解消するため駅改良工事を実施



3. (4) 池上駅

池上駅・駅ビル概要

5階	保育園、クリニック		バス 広場
4階	図書館、サービス		
3階	飲食		
2階	改札・コンコース・店舗		
1階	ホーム		



計画概要

- ・所在 東京都大田区池上6丁目
- ・敷地面積 3,490.48㎡
- ・延床面積 9,535.01㎡
- ・構造・規模 鉄骨造・地上5階

- ・店舗 14区画26店舗
(物販、飲食、サービス、公共施設)

開業日：2021年3月30日

3. (4) 池上駅



【改札】



【改札内】



【自由通路】



(参考) 池上本門寺

3. (4) 池上駅

【電車が見えるベンチ】



【電車ビュー】



【図書館・カフェ・共用部のつながり】



【ホームベンチ】

3. (4) 池上駅

メモリアルコーナー（池上駅改札内）

- ・ 壁の装飾に「えきもく」を使用
- ・ 旧池上駅で使用した木製ベンチを復活



3. (4) 池上駅

■ 大田区立池上図書館 (駅ビル内)

大田区立池上図書館では、図書館内のベンチの一部及び駅改札階に設置した図書返却ポストに「えきもく」を使用しています。



ベンチ



図書返却ポスト

目次

1. 会社概要

2. 環境対策の取り組み

- (1) 「環境ビジョン2030」
- (2) 木材活用 ～木になるリネニューアルプロジェクト～

3. 東急池上線での木材活用事例

- (1) 戸越銀座駅
- (2) 旗の台駅
- (3) 長原駅
- (4) 池上駅

4. 今後の展望

- (1) Green UNDER GROUND (駒沢大学駅)
- (2) 古材「えきもく」の利活用
- (3) “もっと”木になるリネニューアル

目次

1. 会社概要

2. 環境対策の取り組み

(1) 「環境ビジョン2030」

(2) 木材活用 ～木になるリネニューアルプロジェクト～

3. 東急池上線での木材活用事例

(1) 戸越銀座駅

(2) 旗の台駅

(3) 長原駅

(4) 池上駅

4. 今後の展望

(1) **Green UNDER GROUND** (駒沢大学駅)

(2) 古材「えきもく」の利活用

(3) “もっと”木になるリネニューアル

4. (1) Green UNDER GROUND

Green
UNDER
GROUND

5 stations, 5 colors.

5つの駅のリニューアル。

“Green UNDER GROUND”とは

田園都市線池尻大橋駅、三軒茶屋駅、駒沢大学駅、桜新町駅、用賀駅
地下5駅のリニューアルプロジェクトです。

“Green”にはさまざまな想いを込めています。

- ・快適、安心であること
- ・スムーズであること
- ・クリーンであること
- ・サステナブルであること
- ・親しみが生まれること
- ・ネガティブがポジティブに変わること

各駅はこれまで以上に、安心・安全・快適・便利で
サステナブルな駅へと生まれ変わります。

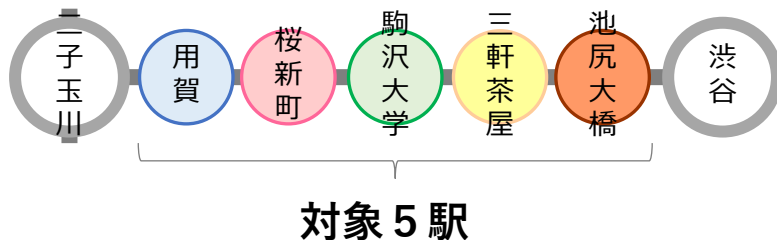
5駅があるまちの個性は色とりどりで、魅力に満ちています。
そんなまちとともに、より“ワクワク”するまち、駅を
目指して新たな挑戦を始めます。



4. (1) Green UNDER GROUND

【旧新玉川線概要】

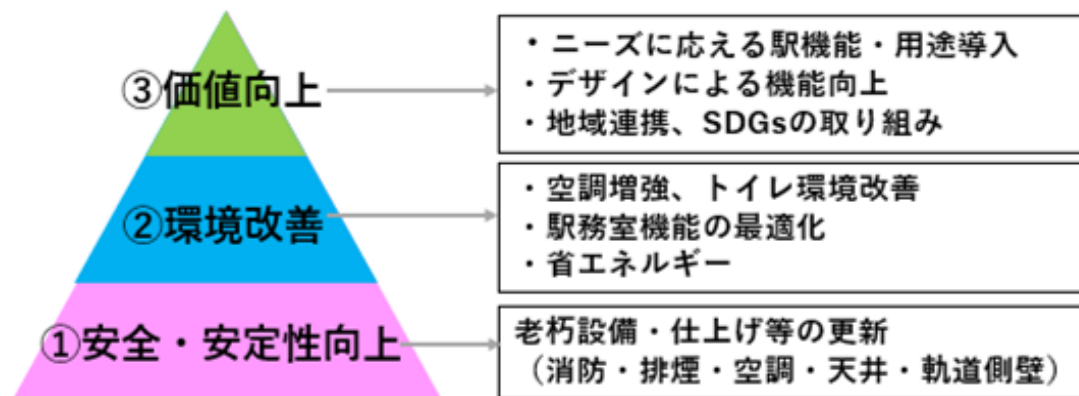
- ・ 1977年4月開業
- ・ 現田園都市線渋谷～二子玉川駅



【リニューアル概要】

- ・ 駒沢大学駅 2021年7月～2024年夏頃 (予定)
- ・ 桜新町駅 2023年5月～2026年夏頃 (予定) ※他3駅未定

【事業方針】 より安全・より強靱な鉄道へ



4. (1) Green UNDER GROUND

池尻大橋駅
(約5.6万人/日)



三軒茶屋駅
(約12.5万人/日)



駒沢大学駅
(約6.7万人/日)



桜新町駅
(約6.2万人/日)



用賀駅
(約6.0万人/日)



※乗降人員は2022年度実績

4. (1) 駒沢大学駅

地上ビル計画概要

人を引き寄せ、駅へと引き込み、建物それ自体がサインとなる **Symbol tree**



	西口ビル (2)	西口ビル (1)	東口ビル
敷地面積	81.18㎡	113.88㎡	279.46㎡
建築面積	58.71㎡	97.08㎡	237.28㎡
延床面積	347.98㎡	398.58㎡	564.34㎡
階数	地下2階・地上4階	地下2階・地上2階	地下2階・地上4階
構造	地下RC・地上木造	地下RC・地上S	地下RC・地上S
用途	駅休憩室・店舗	駅出入口・店舗	駅出入口・店舗

4. (1) 駒沢大学駅 (東口ビル)

Green
~~UNDER~~
GROUND

田園都市線駒沢大学駅東口ビル天井改修等工事が竣工しました！

駅リニューアルコンセプト「UNDER THE PARK」に合わせ、都立駒沢オリンピック公園の最寄り駅として、心地よくワクワクする公園のようなまちへの期待感が高まる玄関口を目指しました。



4. (1) 駒沢大学駅 (東口ビル)



4. (1) 駒沢大学駅 (西口ビル)

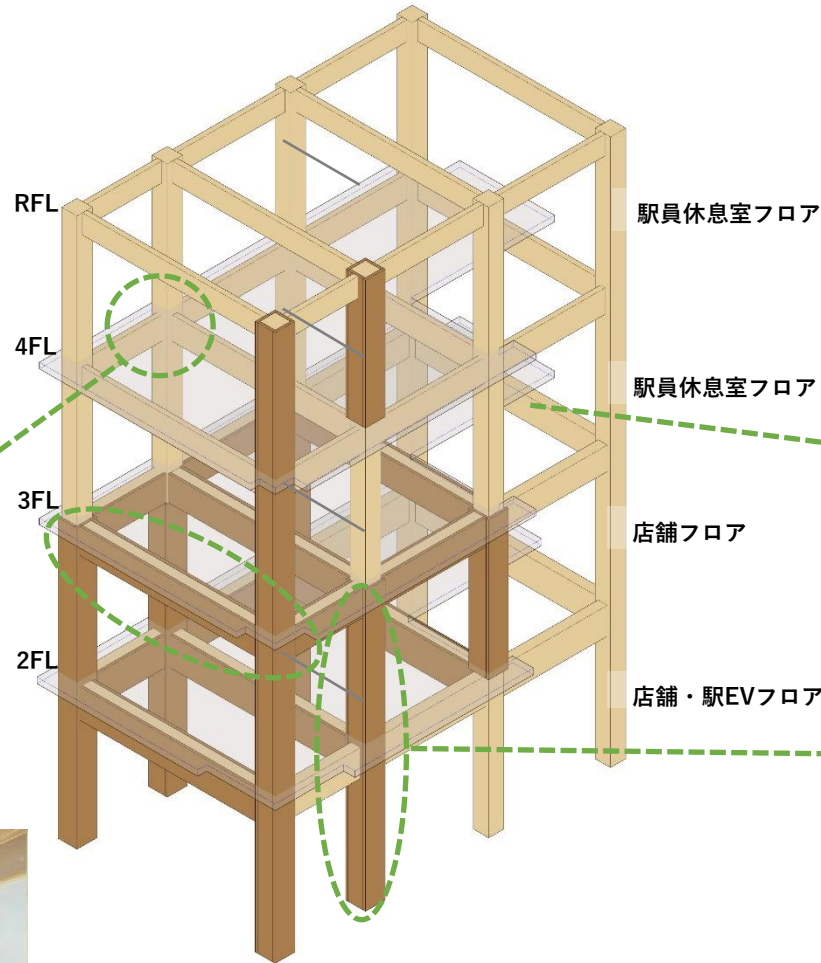
先導的な内容

4階建て2方向ラーメン構造

2方向ラーメンとすることにより耐震壁・耐震ブレース等が不要な建物となっている。外周部に対する開放性、将来の改修も見据えたフレキシブルなプラン、空間を有効に使いレンタル比率を高めることを実現している。

ラグスクリューボルト接合

柱・梁接合部にはラグスクリューボルト接合を用いる。各部材にラグスクリューボルトを設け、伸び能力のある鋼材を接合具に用いることで、高強度・高剛性に加え、靱性能を有する接合とする。



断熱屋根工法 (屋上防水計画)

屋上については、デッキプレート断熱屋根工法（断熱材を防水シートにて覆った屋根材を使用）を計画している。部分的に固定する工法（絶縁工法）であることから、建物の挙動に強い点、総重量が軽い点、シート単体でなく断熱材複合材であるため、より防水性が高い点がメリットである。

CLT厚150床による張出し

柱の位置は、施工上境界線より離隔を確保して内側に設置されるが、CLT版を外部に跳ね出すことにより、梁や柱なしで空間を広げることができる。（CLT：直行集成材）

LVL耐火被覆(耐火建築物)

◇ ■ 部

一部の主要な空間（店舗等）の柱・梁において難燃処理を施したLVLで構造体を覆うLVL耐火を採用する。木材のみによる被覆であり、木材利用の観点からの有効である。木造耐火の選択肢の一例として普及を見込む。（LVL：単板積層材）

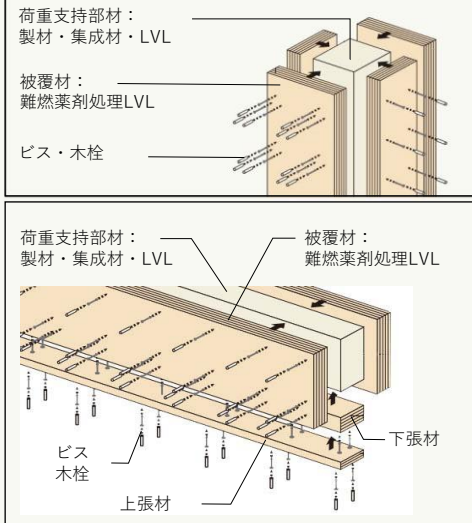


4. (1) 駒沢大学駅（西口ビル）

LVL耐火被覆

全国で初めて柱・梁共にLVL耐火被覆を採用

L
V
L
耐
火
被
覆
と
は



● LVL

ロータリーレースと呼ばれる機械で丸太を切削のうえ単板にして、乾燥し単板の繊維方向に平行に積層接着させた木質構造部材。単板にして積層接着することで、寸法・強度等の品質安定性が極めて高い。（出典：（一社）全国LVL協会HP）

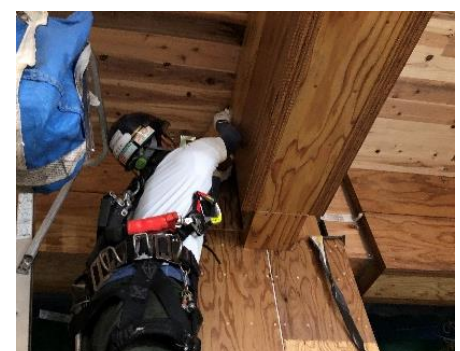
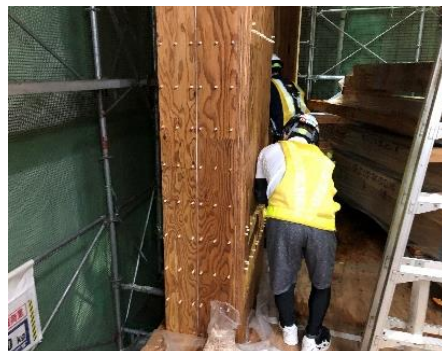
● 耐火被覆

今回採用したLVL耐火被覆(1時間耐火)は、近年開発され耐火被覆部材で柱と梁共に耐火被覆した事例は無く本建物が全国で初めての事例となる。難燃薬剤で処理したスギLVLで構造材を被覆した耐火部材であり、木材のみによる耐火被覆である。（認定取得者：一般社団法人全国LVL協会）

● 火災時

万が一火災が起きた後も、外側の耐火被覆材をはがして新しい被覆材を現場で取り付けることが可能。

■ 施工中の様子



目次

1. 当社の事業概要

2. 環境対策について

- (1) 「環境ビジョン2030」
- (2) 「木になるリニューアル」

3. 東急池上線での木材活用事例

- (1) 戸越銀座駅
- (2) 旗の台駅
- (3) 長原駅
- (4) 池上駅

4. 今後の展望

- (1) 駒沢大学駅
- (2) 古材「えきもく」の利用促進

(3) 自治体・東急電鉄～もつと木になるリニューアル～

4. (2) 古材「えきもく」の利用促進

木造駅舎の木材を沿線で活用する みんなの“えきもくプロジェクト”

“えきもく（古材）”をツールとして
“駅”をより身近に感じてもらう



- 地域の方とともに育んできた歴史ある **木造駅施設の記憶を未来に継承**
- 工事に伴う **環境負荷の低減**（廃材処理時のCO₂削減）
- ホーム上の木製長ベンチやホーム屋根などの **古材を新たな駅施設にも活用**



旧池上駅

4. (2) 古材「えきもく」の利用促進

『みんなのえきもくプロジェクト』はじめました!

駅をご利用の皆さまや地域の皆さまと育ててきた歴史ある木造駅の記憶をつなげていきたい。

駅改良工事中の池上線池上駅・旗の台駅で使用している木材（古材）を、駅および沿線で使っていくプロジェクトをはじめました!

駅の古材を使ったワークショップや、池上線への想いをもつ地域の皆さま、店舗などを対象に駅の古材をお渡しするイベントを行っていきます。また、駅のホーム上の木製ベンチやホーム屋根などの古材を、新たな駅施設にも使っていきます。

活用にあたっては、ReBuilding Center JAPANにご協力いただいています。



池上駅舎に設置されていた長いベンチ



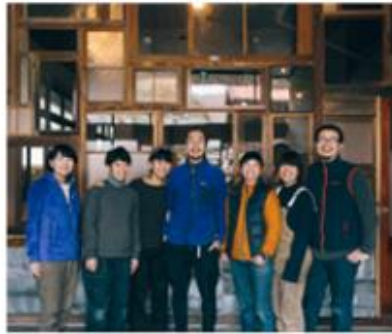
池上駅より発生した古材

4. (2) 古材「えきもく」の利用促進

REBUILDING
CENTER



JAPAN



～ReBuilding Center JAPAN について～

長野県諏訪市を拠点として活動。「Rebuild New Culture」を理念とし、廃材に新たな価値を付加して再利用することで、地域資源・経済の循環を促す活動を行っている。

第1弾

えきもく

ワークショップ

6月30日イベント終了

第2弾

“えきもく”で
クリスマスオーナメントを
つくろう!

11月23日イベント終了

第3弾

池上駅の
「えきもく」を使った
ベンチを街に広げよう!

6月1日イベント終了

4. (2) 古材「えきもく」の利用促進

■カフェでの活用事例 @池上

※2022年1月末で閉店



©Koichi Tanoue

■カフェでの活用事例 @大井町



目次

1. 当社の事業概要

2. 環境対策について

- (1) 「環境ビジョン2030」
- (2) 「木になるリニューアル」

3. 東急池上線での木材活用事例

- (1) 戸越銀座駅
- (2) 旗の台駅
- (3) 長原駅
- (4) 池上駅

4. 今後の展望

- (1) 駒沢大学駅
- (2) 古材「えまもく」の利用促進
- (3) “もっと”木になるリニューアル

4. (3) “もっと”木になるリニューアル

○脱炭素化・循環型社会の実現に向けた取り組み

木材を活用した駅改良プロジェクト「木になるリニューアル」では、戸越銀座駅、旗の台駅、長原駅に続く新たな駅での実施に向けて検討を深度化させます。親しみのある駅づくりの推進とともに、積極的な木材活用によりCO₂排出量を削減し、脱炭素化・循環型社会の実現に貢献していきます。

今後、“もっと”木になるリニューアルへ取り組みをアップデート



木材利用促進を軸とした、
多様な企業様や自治体様との連携を推進

- ・国産木材の利用推進（地産地消・地産都消）
- ・古材の活用推進
- ・多様な企業様との連携による社会貢献
- ・交流人口の創出（沿線に限らない）

最後に



住む・遊ぶ・働くが織りなす日々のなかで、
だれもが、持続可能な社会と地域環境の再
生に貢献できる「まちづくり」をすすめて
まいります。

